

2026年3月期 第2四半期 決算説明会

株式会社 **日本トリム**
証券コード：6788(東証プライム)

2025年11月13日

- 2026年3月期 第2四半期の概況
- 2026年3月期 第2四半期 連結業績サマリー
- 2026年3月期 第2四半期 セグメント別売上高
- 2026年3月期 第2四半期 営業利益の増減内容

中間期
過去最高

売上高

12,406百万円

(前年同期比 9.2%増)

経常利益

1,676百万円

(前年同期比 14.0%減)

親会社株主に帰属する
中間純利益

1,106百万円

(前年同期比 15.2%減)

売上高は中間期過去最高を更新。各段階利益は先行投資などによる費用増で前年同期比減。

整水器販売事業

- ①直接販売部門は売上高4,566百万円、前年同期比5.3%増。
 - ・ 職域販売では引き続きスポーツ・美容分野に注力。
 - ・ 金融機関のビジネスマッチング展開にも着手。
- ②間接販売部門は売上高472百万円、前年同期比11.5%減。
 - ・ 1Qでの既存代理店向け売上の鈍化は徐々に回復。
- ③浄水カートリッジは売上高3,069百万円、前年同期比4.1%増。
 - ・ 顧客フォロー強化により高い購買率を維持。
- ④人的投資拡大、広告宣伝強化により販売管理費が増加

ボトルドウォーター事業

- ・ 売上高2,100百万円、前年同期比37.2%増と引き続き好調を維持。
- ・ シェア拡大に向けた広告増により利益面では前期を下回る想定。

電解水透析事業

- ・ 売上高74百万円（前年同期は売上高9百万円）。2Qは2施設導入。
- ・ 累計37施設、1,127床に導入（2025年9月末現在）。

再生医療関連事業

- ・ ステムセル研究所が中間期過去最高売上を更新。
- ・ 人的投資拡大、営業体制再構築による費用増。

2026年3月期 第2四半期 連結業績サマリー

単位：百万円 (百万円未満切捨)	2025年3月期 2Q実績		2026年3月期 2Q実績		増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	11,361	100.0%	12,406	100.0%	+1,044	+9.2%
売上原価	3,383	29.8%	3,922	31.6%	+538	+15.9%
売上総利益	7,978	70.2%	8,484	68.4%	+505	+6.3%
販売費及び一般管理費	6,121	53.9%	6,920	55.8%	+799	+13.1%
営業利益	1,856	16.3%	1,563	12.6%	△293	△15.8%
経常利益	1,949	17.2%	1,676	13.5%	△273	△14.0%
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,306	11.5%	1,106	8.9%	△199	△15.2%
一株当たり中間純利益(円)	170.40	—	145.46	—	△24.94	△14.6%

売上総利益率の低下要因

①事業構成比率の変化

ボトルドウォーター事業拡大により
全体の利益率が低下

②原価の上昇

販売費及び一般管理費の増加

①業容拡大のための人的投資強化

グループ全体で前年同期比+56名

②ボトルドウォーター事業のシェア 拡大に向けたTVCM、SNS広告、 プロモーション活動強化

特別損益項目

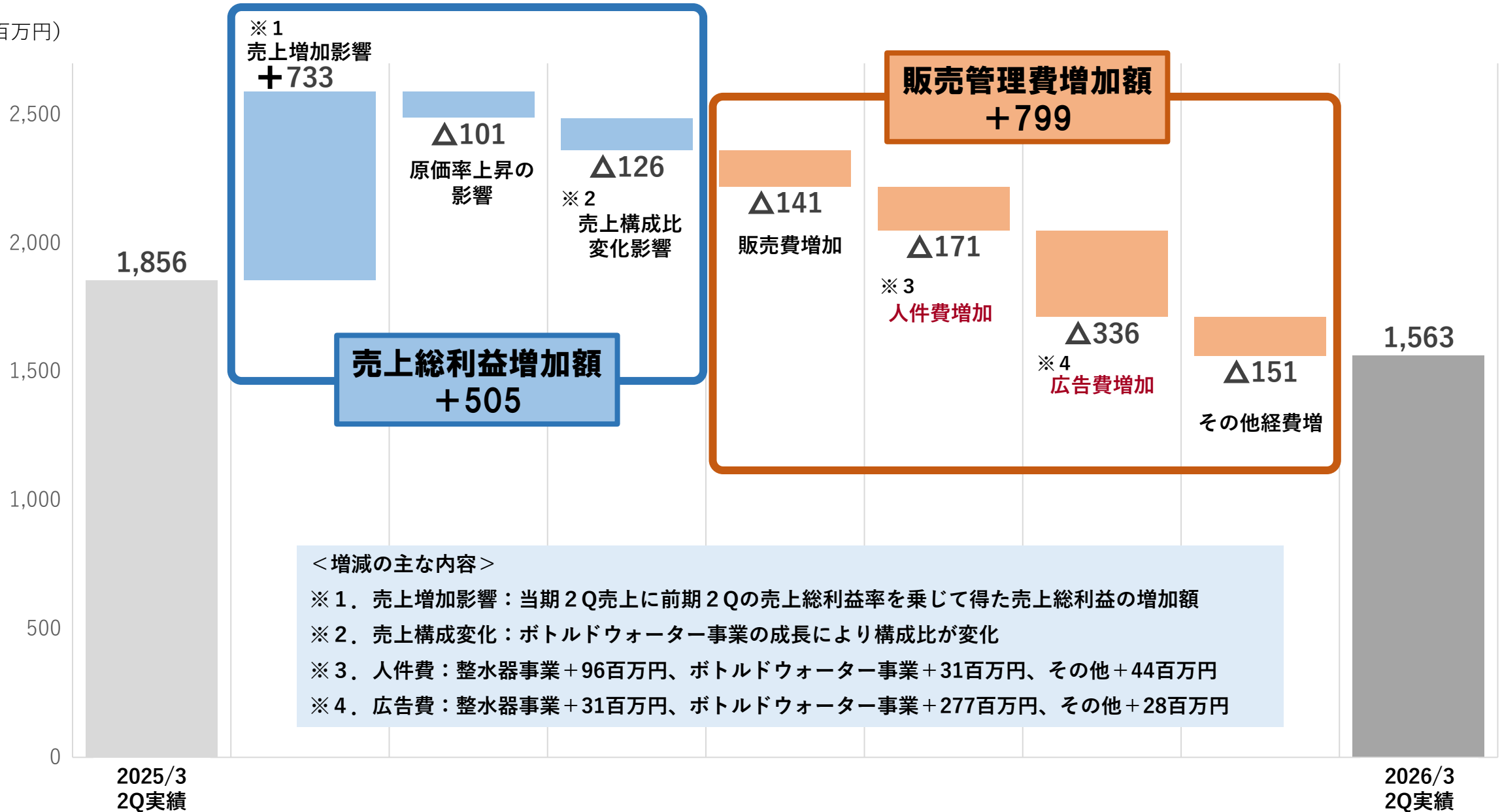
①前期は1Qに投資有価証券売却益 149百万円が発生

2026年3月期 第2四半期 セグメント別売上高

単位：百万円 (百万円未満切捨)		2025年3月期 2Q実績		2026年3月期 2Q実績		増減額	増減率
		金額	構成比	金額	構成比		
ウォーターヘルスケア	(フロービジネス)						
	DS事業部（職域販売）	2,632	23.2%	2,850	23.0%	+217	+8.3%
	HS事業部（取付・紹介販売）	778	6.9%	734	5.9%	△44	△5.7%
	SS事業部（店頭催事販売）	284	2.5%	284	2.3%	+0	+0.0%
	メンテナンス部門	178	1.6%	186	1.5%	+7	+4.0%
	リプレイス部門	220	1.9%	254	2.1%	+33	+15.4%
	WEB販売	242	2.1%	256	2.1%	+13	+5.8%
	MS事業部（卸・OEM）	533	4.7%	472	3.8%	△61	△11.5%
	整水器合計	4,871	42.9%	5,038	40.6%	+166	+3.4%
	(ストックビジネス)						
	カートリッジ	2,947	25.9%	3,069	24.7%	+121	+4.1%
	(子会社売上)						
	広州多寧健康科技有限公司	62	0.5%	57	0.5%	△5	△8.0%
	PT. SUPER WAHANA TEHNO	1,531	13.5%	2,100	16.9%	+569	+37.2%
	(その他)	529	4.7%	600	4.8%	+70	+13.3%
	小計	9,943	87.5%	10,866	87.6%	+923	+9.3%
医療関連	再生医療関連事業	1,408	12.4%	1,464	11.8%	+56	+4.0%
	電解水透析事業	9	0.1%	74	0.6%	+64	+655.9%
	小計	1,418	12.5%	1,539	12.4%	+121	+8.5%
連結合計		11,361	100.0%	12,406	100.0%	+1,044	+9.2%

2026年3月期 第2四半期 営業利益の増減内容

(百万円)



■中期経営計画 業績目標(2026年3月期～2028年3月期)

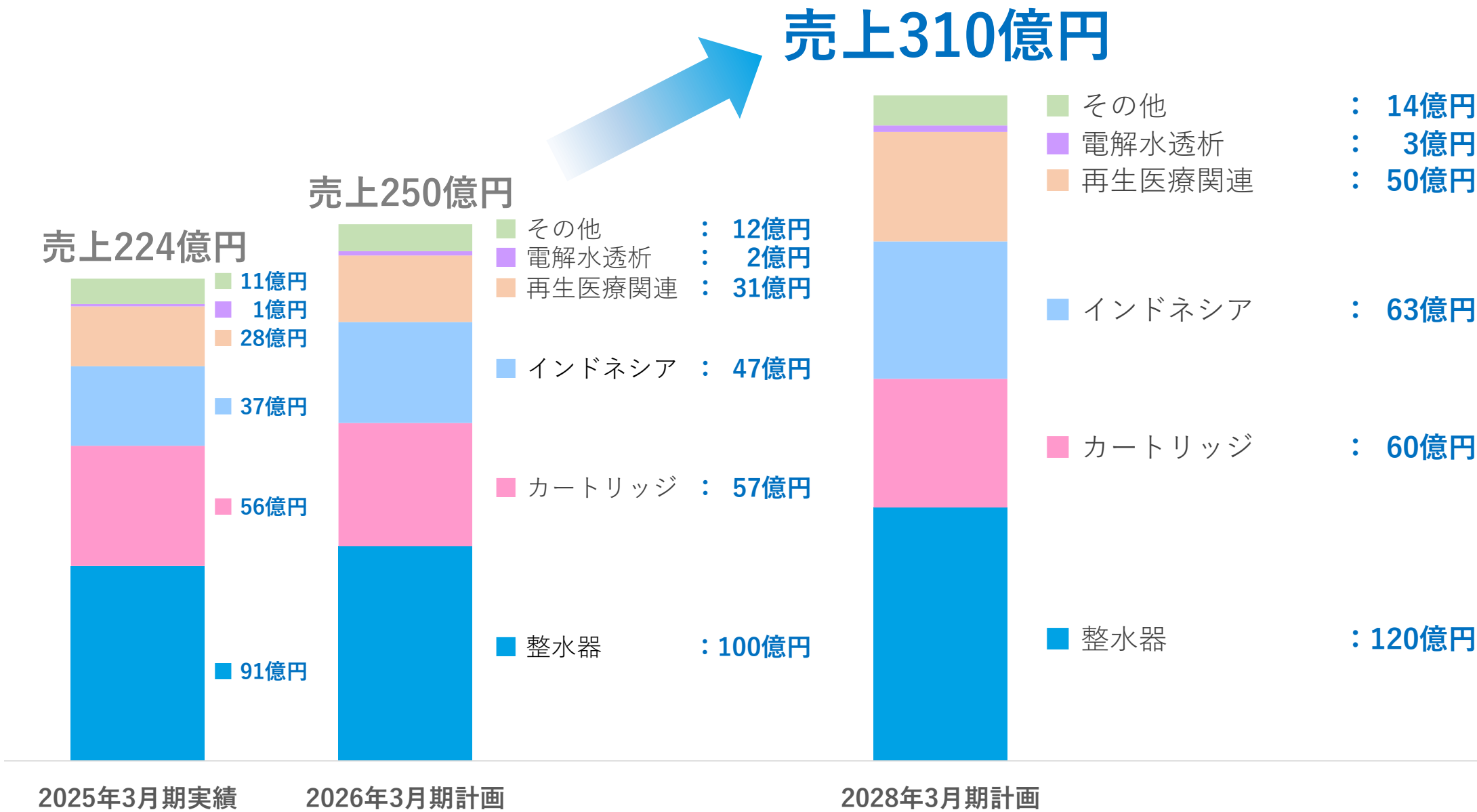
- ・ 整水器販売事業
- ・ インドネシア：ボトルドウォーター事業
- ・ 電解水透析事業
- ・ 再生医療関連事業 ステムセル研究所,ストレックス

■業績推移

■資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

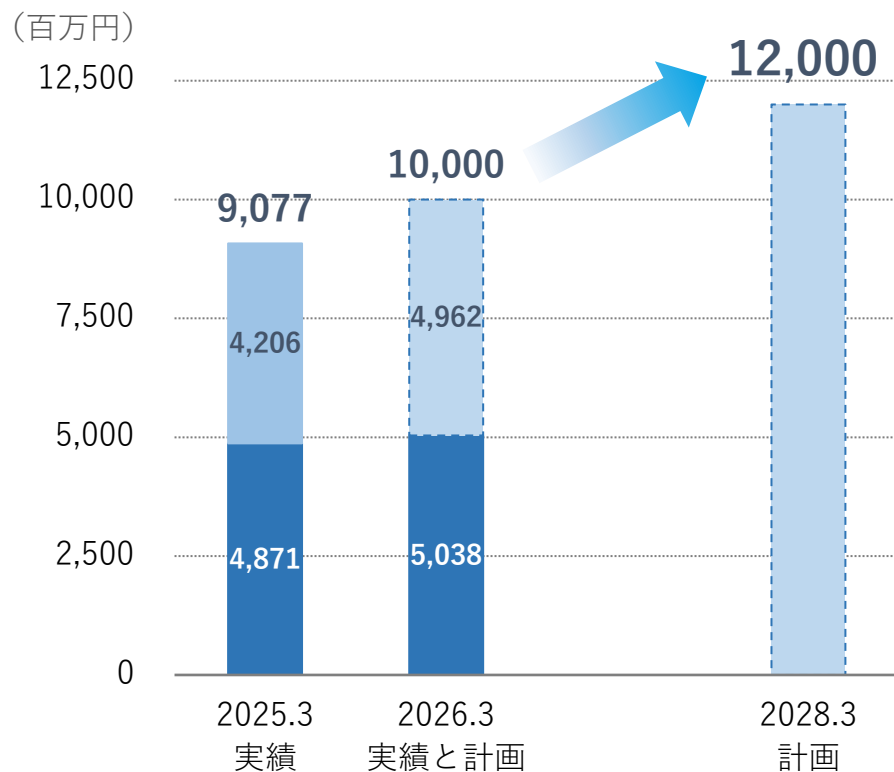
■株主還元

中期経営計画 業績目標（2026年3月期～2028年3月期）



【2028年3月期目標】 整水器売上高 120億円

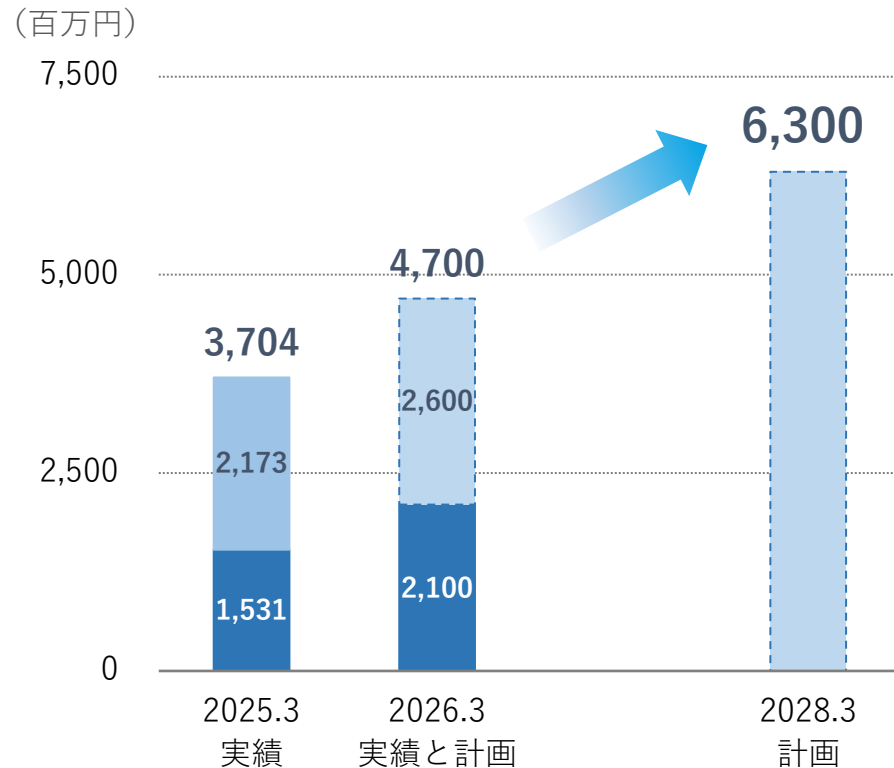
整水器売上高の推移



- ①営業人員の増員、営業力強化
- ②代理店網の拡充、新規チャネル開拓
- ③海外（アジア地域）の市場開拓及び拡充
- ④営業支援となる研究の推進
- ⑤新製品開発

【2028年3月期目標】売上高 63億円

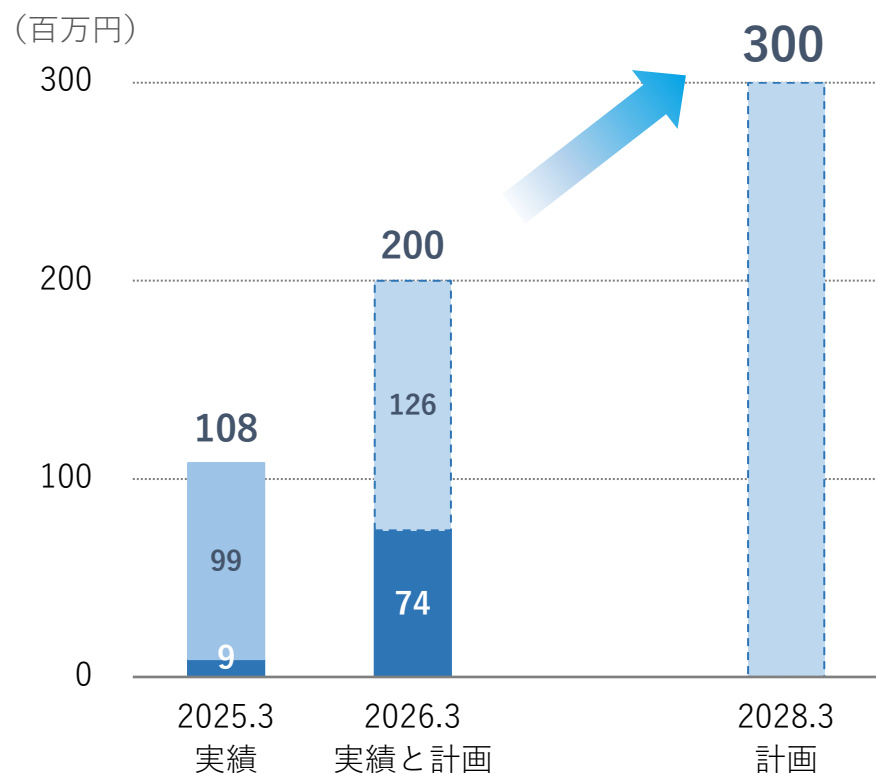
売上高の推移



- ① 広告・マーケティングのさらなる強化、ブランド力の向上
- ② 販売代理店、流通網の拡充（展開地域の拡大）
- ③ ローカル市場（地場の小売店舗）の開拓
- ④ デジタルマーケティングの強化、ビジビリティーの最適化
- ⑤ 生産体制の強化／新工場建設による生産量、生産効率向上

【2028年3月期目標】売上高 3億円

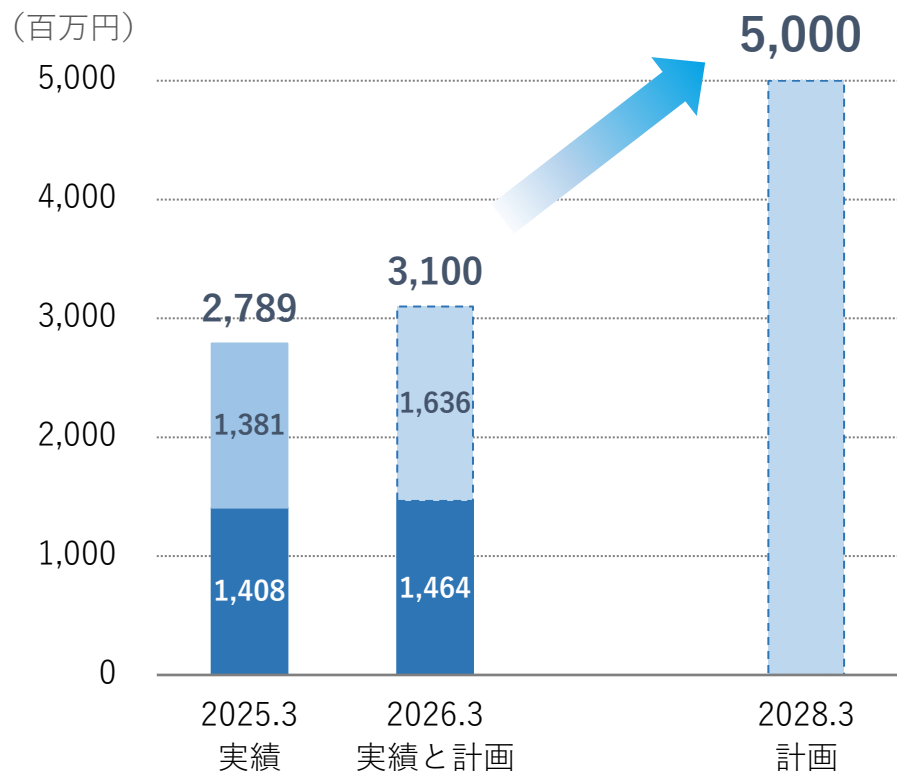
売上高の推移



- ①透析、腎臓関連学会、研究会等への積極的展開
- ②医師、技師等とのネットワーク強化
- ③血液透析関連企業との連携強化
- ④導入ハードルを下げる機器開発（設置環境、価格）
- ⑤医療機器化を目的とした研究開発

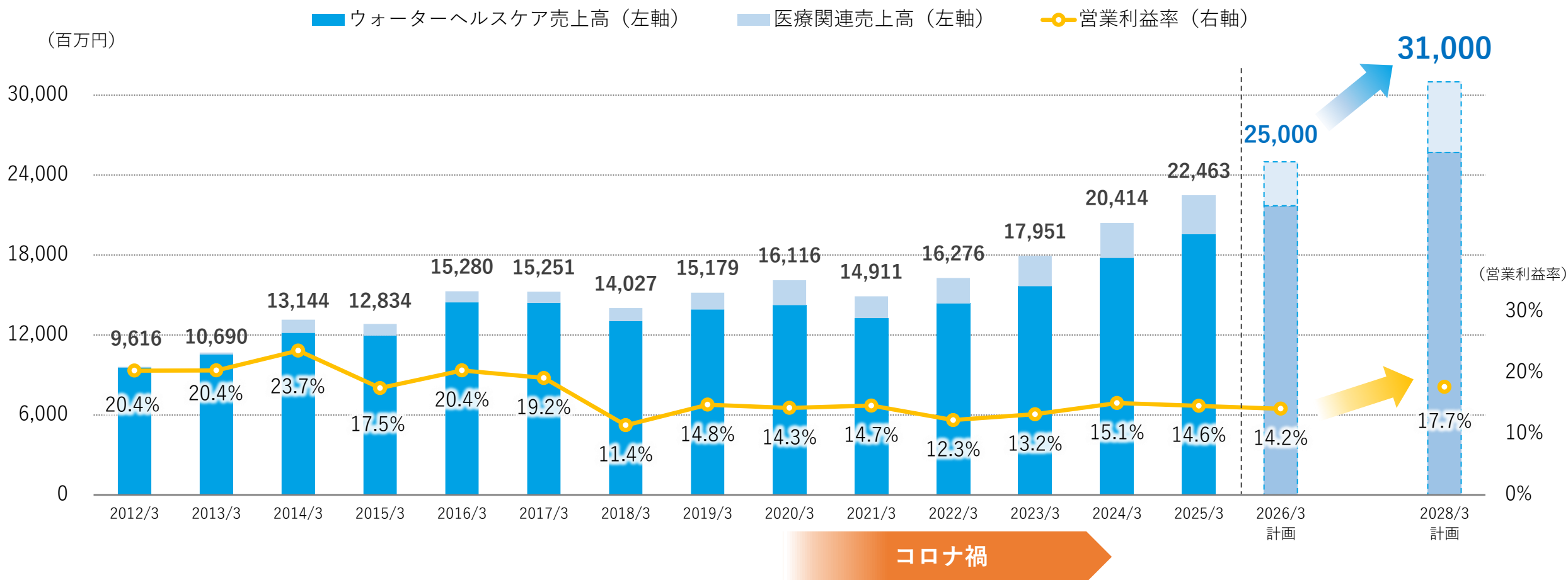
【2028年3月期目標】売上高 50億円

売上高の推移



- ①リアル及びデジタルマーケティングの連携強化
- ②さい帯血、さい帯の用途拡大に向けた研究支援
- ③再生医療、フェムテック等の関連領域の事業開発
- ④海外（東南アジア地域）の市場開拓及び拡充
- ⑤関連領域企業への積極的投資、M&Aの展開

2028年3月期目標達成に向け、成長路線へ。



資本政策の基本方針

「資本効率性」「株主還元」「財務健全性」をバランスよく実現し、株主価値の持続的向上を目指す。

現状認識と今後の対応

- 1 資本コスト 概ね7.5%程度と認識 ▶ 2025年3月期のROEは9.7% ▶ 2026年3月期 9.6%予想
- 2 P B R 2025年3月期末 1.23倍

- ①2025年3月期のROEは9.7%、過去3年の実績平均は9.2%と、安定して資本コストを上回る水準。
- ②PBRは1倍を超える水準であるも、現状株価は割安であると認識。
- ③更なる企業価値向上に向け、新たに策定した中期経営計画の達成と、M&Aによる新規事業への投資や、市場評価の改善に向けたIR活動の強化、更なる株主還元策の実施に取り組む。

2025年5月13日開催の取締役会において、自己株式取得に係る事項を決議

自己株式取得の概要

- 1 取得し得る株式の総数 250,000株 ⇒ **190,200株取得済**
- 2 株式の取得価額の総額 1,200百万円 **844百万円**
- 3 取得期間 2025年5月14日～2025年12月31日

2025年10月末時点

2026年3月期
期末配当予想

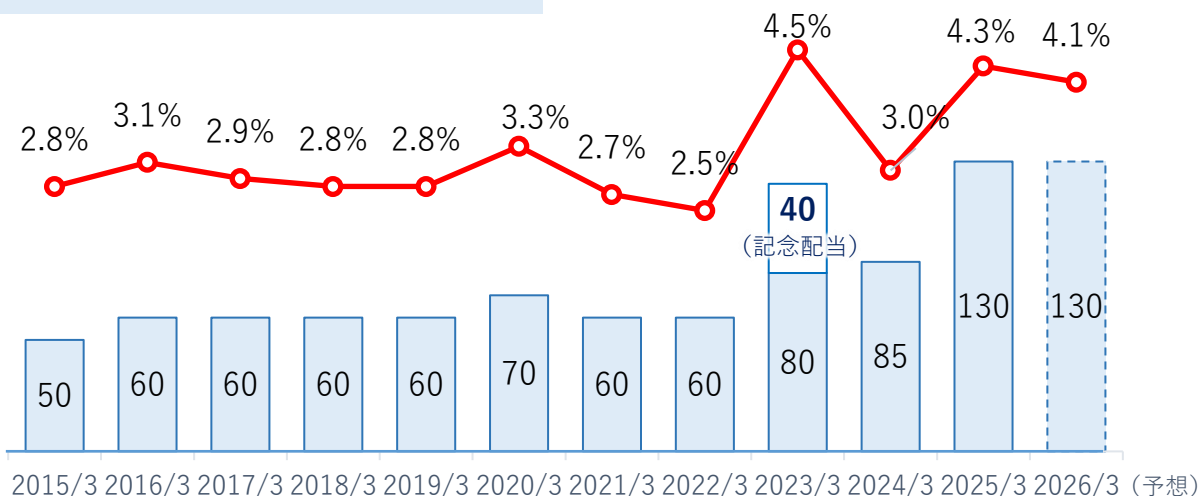
130円

DOE **4.1%** 配当性向 **42.7%**

総還元性向 **97.6%** ※

※ 総還元性向：自己株式取得を総額1,200百万円として算出

配当金額・DOEの推移



ROEの推移

2025年3月期
(実績)
9.7%

2026年3月期
(予想)
9.6%

Appendix

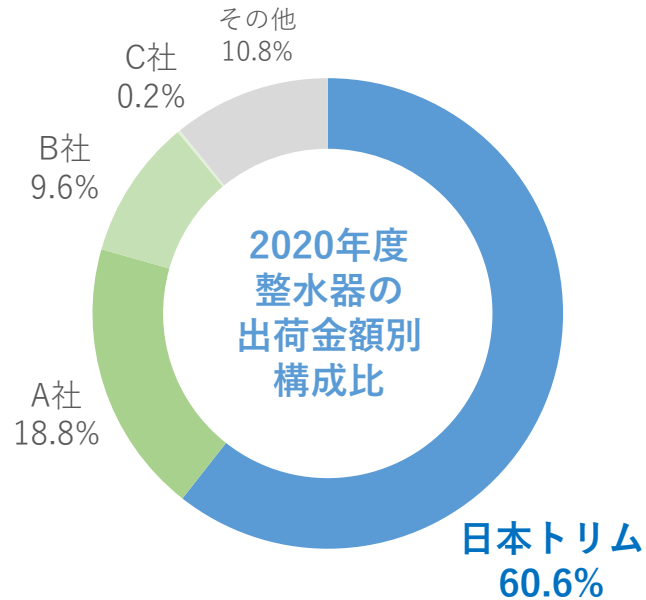
社会は何時の時代も我々の製品を必要としている。

電解水素水の普及により、
グローバルに**予防医療**、
医療費削減へ貢献することが、
我々の使命



日本トリムは電解水素水の可能性を追求し、健康の維持・増進に貢献する企業

1 整水器における国内圧倒的トップシェア



出典：株式会社矢野経済研究所
「2021年版 浄水器・整水器市場の実態と展望」

2 電解水素水の可能性の拡大



3 電解水素水に関する共同研究を様々な機関と推進



新たな可能性を開拓

効果のエビデンスを蓄積

電解水素水の新たな可能性を開拓すべく、共同研究・地域連携でさまざまな研究を展開



大学・大学病院

研究機関



新たな可能性を開拓

効果のエビデンスを蓄積

直近に発表した論文

2024年度

- ・電解水透析実態調査で1年後の生命予後リスク低減（電解水透析研究会）
- ・電解水透析の透析疲労を改善する可能性（東北大学、聖路加国際病院）
- ・ナノファブリック型新規高性能白金電極触媒開発（東京大学）

2023年度

- ・電解水素水の多様な利点に関する総説（理化学研究所）
- ・包括的腎臓病対策研究の総説（東北大学、聖路加国際病院）
- ・メタボリックシンドロームと予備軍の腹囲を減少（高知大学、須崎市）

2022年度

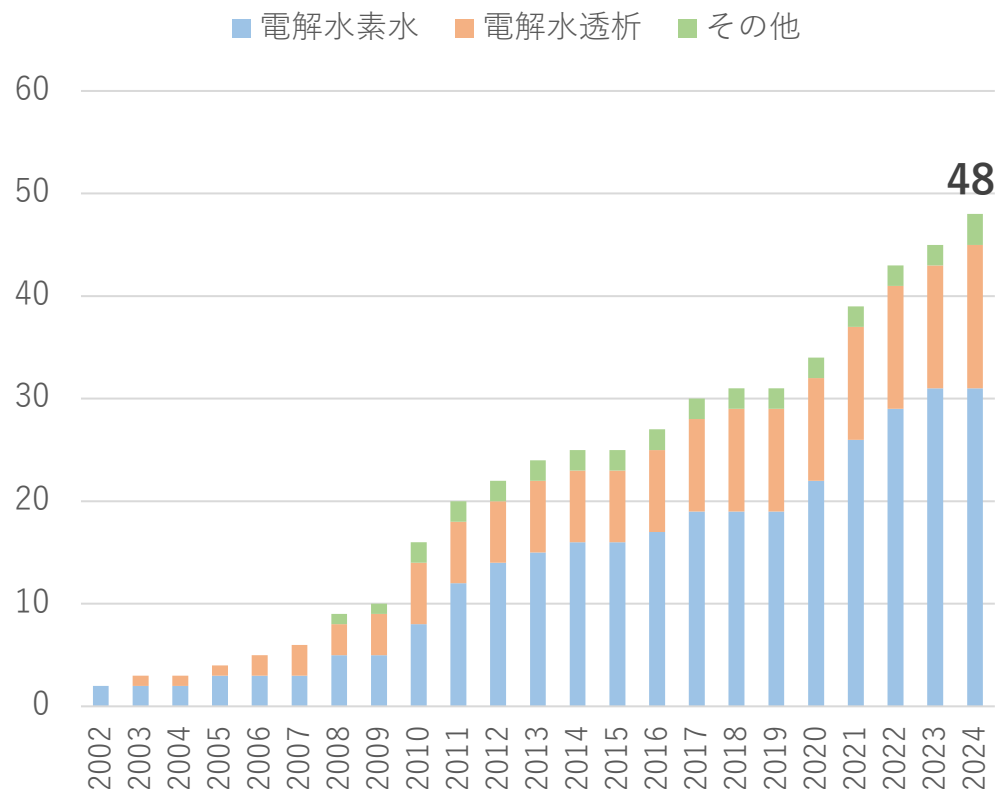
- ・酸化ストレスへの有効性（理化学研究所）
- ・炎症性腸疾患の症状を緩和（理化学研究所）
- ・重度疲労感低減作用を確認（聖路加国際病院、日鋼記念病院）

2021年度

- ・重度の透析関連疲労感をほぼ消失（聖路加国際病院、愛仁会 井上病院、疲労科学研究所、理化学研究所）
- ・インスリン抵抗性高値を改善（東北大学）
- ・アルコールによる肝細胞傷害を軽減するメカニズム解明（早稲田大学）

電解水素水の新たな可能性を開拓すべく、共同研究・地域連携でさまざまな研究を展開

電解水素水関連発表論文 累計数



※2025年度は4報投稿中、2報投稿予定

当社と共同研究を行う主な大学・研究機関

理化学研究所

東京大学未来ビジョン
研究センター

立命館大学

東北大学

帯広畜産大学

九州大学

高知大学

神戸大学

2023年4月
当社と共同でエッセンシャルヘルスケア
科学に関する共同研究講座を新設

当社の発表論文の詳細は、下記をご参照ください。

[https://www.nihon-trim.co.jp/
research/thesis_water/](https://www.nihon-trim.co.jp/research/thesis_water/)





2025
健康経営優良法人

KENKO Investment for Health

大規模法人部門

健康経営優良法人2025（2020年より6年連続）

電解水素水「ウォーターヘルスケアという、新習慣。」

社内取組：健康経営を成長戦略と捉え推進

- ・医療費削減／労働生産性向上／経営の効率化
社員の離職率低下
- ・管理本部主導で健保、産業医と連携

健康経営責任者：代表取締役社長

健康経営推進責任者：管理本部担当役員

社外取組：企業の健康経営・福利厚生の一助として訴求

企業理念：「快適で健康なヒューマンライフの創造に貢献する」

【マテリアリティ（重要課題）】



本資料で記述されている業績予想ならびに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。